

深い歴史を刻んだ話が聞ける そんな機会ってなかなかないですね。

看護師でもある渡邊晃さんは、夫婦で老人介護施設を営んでいる。渡邊さんが運営する施設に入ると最初に感じるの、あたたかく和気あいあいとした雰囲気だ。仕事を始めたきっかけは、祖父の末期に立ち会ったことだという。

「意識不明で呼吸器につながれている姿を見て、人生の終わりの時期をもっと素晴らしく生きて欲しいと思った。それに自分がどうかかわれるか…そして自分が理想とする施設を作りたい！と考えるようになりました。」

サラリーマンからの転身だった。

「まず看護師の資格をとりました。それからこの仕事を始めたわけですが、私は若い人に対しても『志があるのなら自分で施設を経営してください』と言っています。仕事の内容はおもしろいですし、お年寄りの深い歴史を刻んだ話が聞けます。そうした機会って普段ではなかなかないですね。」

施設にいるおじいちゃん、おばあちゃん、ひとりひとりに人生があり、歴史がある。

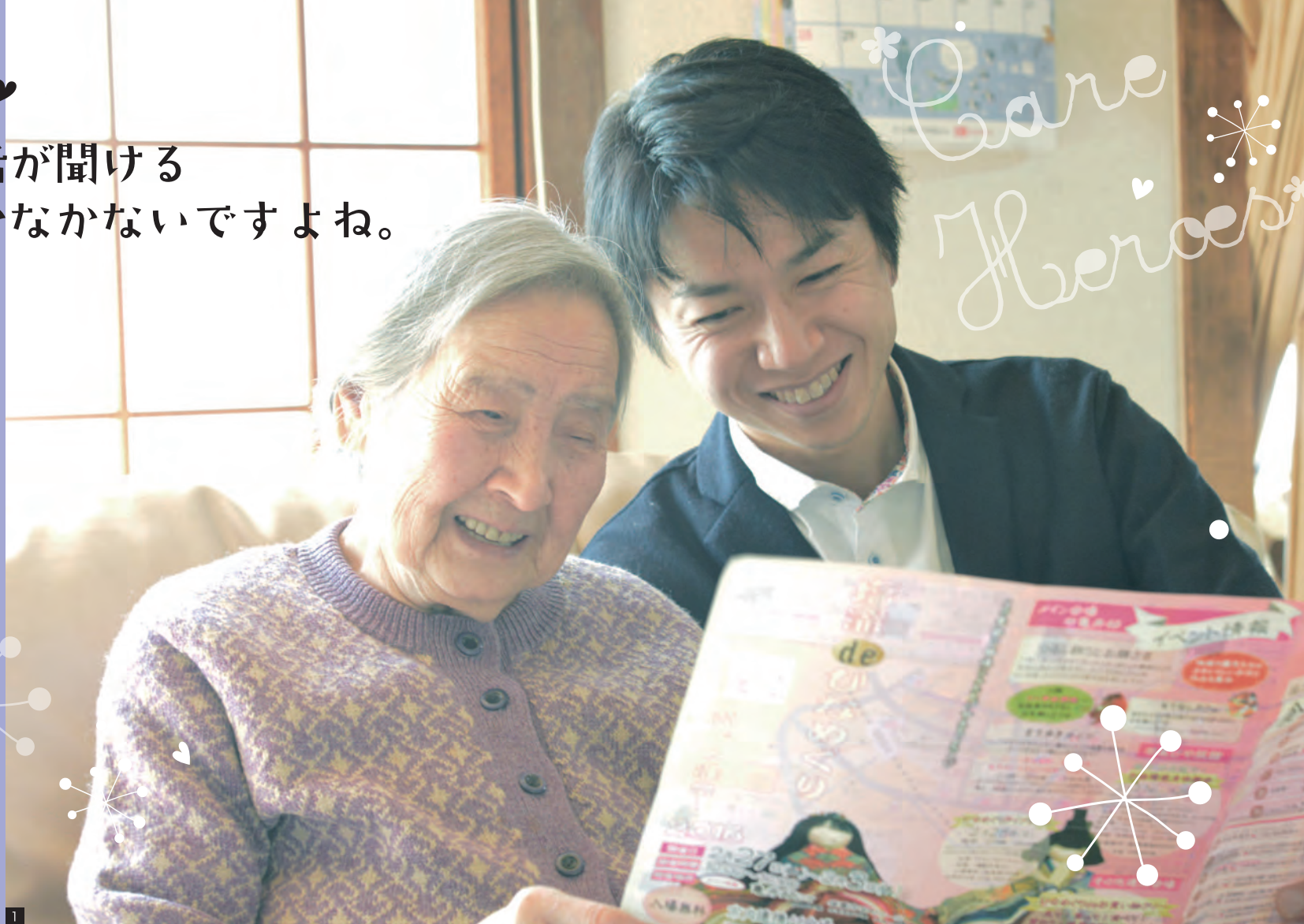
「『話したいことがあるから、話して聞かせるよ』って自分の祖父から言われていたんです。それが実現しないまま亡くなって…。でも今は何を伝えたかったかわかります。施設のお年寄りの話を聞いてると、きっと祖父もこういう話がしたかったんだろうなって。」

profile

名前 渡邊晃 (40) 将来の夢
子供時代の夢だったのはバンド。将来飲食店を営んで、そこでライブをやりたい。

職種 介護施設経営・
看護師

趣味 Rock



1 いつも笑顔をやさしいのが持ち味
デイサービスの施設なので、利用者は自宅から通ってくる。自宅同様の安らぎを与える雰囲気が大切

2 激動の時代を生き抜いた人々の話を聞く
利用者には100歳の人もいる。大正、昭和初期、戦中戦後、話のネタはつきない。時代を生き抜いた人々の話が魅力的

3 夫婦で介護福祉の道に
渡邊さんは多賀城市と塩釜市で3軒の介護福祉施設を経営。そのうちの1軒は、妻の杉子さんが管理者を務めている

4 対話が大切、話すことを大事に
人は話すことで、自分の人生と向き合う。対話を大切にすること。渡邊さんの考える理想の介護の根幹にそれがあ

